

岩手県立高田高等学校 広報



第6号

# 八重の汐

技訓  
至誠  
錬磨  
創造

## 火災時を想定した 第一回避難訓練

五月二十六日(水)の七校時、火災時を想定した避難訓練が行われました。今回の訓練は、一階保健室横の倉庫から出火したとの想定により、全生徒及び職員が校舎からグラウンドへ避難しました。



避難しています

その後の講評については、新型コロナウイルス感染症



クイズに挑戦中

症感染防止対策として、生徒が教室に戻った後、放送で行いました。また、講評後は、各教室で防災に関するクイズをして、非常時における対応に関する意識を高め、知識を深めました。

## 未来言語 WORK SHOP

六月八日(火)の午前中、一学年生徒を対象に、講師として株式会社ヘラルボニーの職員の方四名をお招きして、ノーマライゼーション体験を行うワークショップを開催しました。このワークショップは、「見えない」、「聞こえない」、「話せない」またはその複合状況を体験することで、新しいコミュニケーションシヨンの方法を模索し、他者の立場を慮る姿勢を育むことを目的に行われました。



見えない、聞こえない、話せないを体験中

また、この取組も本校の総合的な探究の時間の取

組である「T×A c t i o n」の一環であり、「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづく」を旨とする陸前高田市の高校生として、体験し学んだことを今後のプロジェクトでの取組に生かすことを目指したものでした。



見えない、聞こえない、話せない人に「プレゼント」という言葉を伝えました

## 第一回避難防火減災教育講演会

六月八日(火)の六校時、株式会社ヘラルボニー代表取締役副代表の松田文登様をお招きして、第一回避難防火減災教育講演会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、一学年は氷上ホールで受講し、二・三学年は氷上ホールでの講演の様子を各教室で、Zoomを利用したオンラインで聴講しました。



講演会の様子



## 一学年進路講演会

この講演会を受講し、障がいや個性と捉え直した生徒が多かったようです。



スタディサプリの説明

六月十六日(水)の七校時、二学年生徒を対象に、岩手県立大船渡病院で看護師兼助産師をされている菅野聖子様と小原浩子様をお招きして、氷上ホールで、保健講話が開催されました。

## 二学年保健講話

この講話で、命の大切さや若年妊娠の危険性、望まない妊娠の影響などについて学びました。



講話の様子

